

大阪・関西万博関係府省庁連絡会議（第6回）

議事要旨

日 時： 令和7年2月7日（金） 13:30～14:30

場 所： 合同庁舎4号館 共用第2特別会議室

出席者：

（議長） 国際博覧会担当大臣	伊東 良孝
（副議長） 内閣官房副長官補（内政担当）	阪田 渉
（副議長） 内閣官房国際博覧会推進本部事務局長代理	茂木 正
内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	井上 学
内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長兼外務省経済局審議官	小林 出
内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	西海 重和
内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	北尾 昌也
内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）	西山 英将
経済産業省大臣官房審議官（国際博覧会担当）	浦上 健一朗
内閣官房危機管理審議官	千代延 晃平
内閣官房内閣審議官（内閣広報室）	畠山 貴晃
内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局審議官兼	
内閣府地方創生推進事務局次長	岸田 里佳子
内閣官房アイヌ総合政策室参事官	藤田 望
内閣官房水循環政策本部事務局長	齋藤 博之
内閣府政策統括官（防災担当）	高橋 謙司
内閣府男女共同参画局長	岡田 恵子
内閣府知的財産戦略推進事務局次長	奈須野 太
内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官	川上 大輔
内閣府宇宙開発戦略推進事務局次長	風木 淳
内閣府総合海洋政策推進事務局次長	高杉 典弘
警察庁長官官房総括審議官	重松 弘教
金融庁総合政策局審議官	川崎 暁
消費者庁審議官	井上 計
こども家庭庁長官官房審議官（総合政策等担当）	高橋 宏治
デジタル庁国民向けサービスグループ審議官	三浦 明
復興庁統括官	山野 謙
総務省大臣官房総括審議官	恩田 馨
出入国在留管理庁出入国管理部長	礒部 哲郎
財務省大臣官房総合政策課政策推進室長	坂東 慶隆
文部科学省大臣官房政策課長	福井 俊英
文化庁審議官	中原 裕彦
厚生労働省大臣官房審議官	宮本 直樹
農林水産省大臣官房総括審議官	山口 靖
国土交通省総合政策局長	塩見 英之
観光庁次長	平嶋 隆司
環境省総合環境政策統括官	秦 康之
防衛省大臣官房政策立案総括審議官	廣瀬 律子

1. 冒頭挨拶

○伊東万博担当大臣

- ・ 本日は、お忙しいところお集まりいただき感謝。
- ・ いよいよ万博まで 65 日。残り 2 か月あまりとなり、パビリオンを含めて、最後の仕上げ、取組、準備に専念されていることと思う。
- ・ この会議で各府省庁から進捗状況などを共有いただき、自分の府省庁で遅れている点やまだ足りない点を確認し、取組のより一層の加速化を図っていただきたい。

2 事務局からの説明

○茂木内閣官房国際博覧会推進本部事務局長代理

- ・ 資料 2 「大阪・関西万博の準備状況について」により説明。
- ・ (P1) 大阪・関西万博の開催概要
皆さんご承知の通り、今年 4 月 13 日が開幕日。開幕してから半年間ということなので、しっかりと走り切れるよう、準備を進めていきたい。
- ・ (P2) 会場建設の状況（2025 年 1 月 20 日時点）
1 月時点撮影の写真。会場の建設は着実に進んでおり多くのパビリオンが完成し始めている。内装工事に取り掛かっているパビリオンもある。
- ・ (P3) 海外パビリオンイメージ
海外パビリオンの建設も全体の工事に比べて、若干遅れていたところもあったが、かなり多くのパビリオンが完成してきた。3 月の末ごろには多くのパビリオンが展示も含め、お披露目できる段階になっていると思う。
- ・ (P4) いのちを考える 8 つのパビリオン（テーマ館）
全てのパビリオンは完成をしており、今展示の調整が始まっているところ。それぞれのプロデューサーの方がいろんな工夫を凝らしたパビリオンを展開していただく。
- ・ (P5) 国内パビリオン イメージ
13 の企業・団体等が出展。こちらも着実に準備が進んでいる。
- ・ (P6) 楽しさ、学び、気づきを感じる多種多様なイベント
「One Earth One Planet」、「水上ショー」は毎日夕方に行われるショーである。「水上ショー」は、リングの中に大きな水辺があり、そこで光と水のショーが毎晩行われる。
- ・ (P7) 開催期間中のコンサート・イベント例
4 月 13 日には Adoさんのライブ、4 月 29 日には、EXILE グループの若手のライブ、8 月には大相撲の万博場所ということで巡業を実施。

こうしたイベントも盛りだくさんで、順次発表されており、今後さらなるイベントの公表で集客をしていきたい。

- ・（P8）機運醸成に向けた取組

関係機関にご協力をいただき、さまざまな PR も進めさせていただいている。

テレビ CM はすでにやっているが、2月7日には新しい CM が導入される。

メディアでも様々な記事を取り上げていただいている。ニューヨークタイムズでも記事を書いていただいている。

鉄道、飛行機、バスなど、インフラ関係機関の方には、多大なご尽力をご頂戴しており、様々なラッピングをしていただいている。

- ・（P9）各省庁の広報・機運醸成活動にむけた PR ツールの送付

先日、各府省庁の広報についてお願いをさせていただき、様々な広報への協力をいただいている。また、職員や関係機関への周知・PR にご協力をいただいているところ。

会期末まで様々なイベントもあり、開幕までではなく、閉幕の10月まで、引き続き皆様のご協力を賜りたい。

ミyakumiyakのぬいぐるみやポスター、パンフレットなどの必要なものを供給していくので、その点もお知らせいただきたい。

- ・（P10）万博を契機とした地方活性化の取組

内閣官房で様々なプログラムをしたり、関係省庁の皆様の尽力をいただいて地方でのイベントも大変盛り上がっている。万博を通じて新しく地域の交流事業が始まったり、観光プログラムが促進されるなど、万博の効果をしっかりと出していきたい。

- ・（P11）万博来場者の地方誘客について

万博来場者の地方誘客について力を入れている。観光庁にもお力添えをいただき、様々な現地での体験商品と万博を組み合わせ、万博にお越しになった皆様にこうしたものがあるよってということをお知らせするといったことを連携しながら、進めているところ。これを機に、万博ともう一箇所まわってもらおうといった取組を進めていく。

- ・（P12）第9回国際博覧会推進本部の開催

1月28日に国際博覧会推進本部を開催し、その場で、石破総理から全大臣に対して、チケットの販売促進、機運醸成に全力を尽くすようにご指示があった。石破総理自身も並々ならぬ関心を示しておいでで、強く指示をさせていただいている。万博のPRも自ら様々なところで声を上げていただく等、進めていただいております、引き続き、関係府省庁においては、万博に向けてお力添えをいただければと思う。

3. 各省からの説明

○井上内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長

- ・資料3-1「内閣官房国際博覧会推進本部事務局の取組状況」により説明。
- ・全国の機運醸成として、地域活性化と関連づけて自分事感を醸成し万博来場の動機付けとする観点から、都道府県知事とタイアップして万博に関連する地元関係者をハイライトしたシンポジウムを開催している。
- ・万博版ホストタウンとして、万博を契機とした国際交流を支援するプログラムを立ち上げて、北海道から沖縄まで全国で約140のプログラムを動かしている。
- ・こども関係の取組を強化している。学校現場に万博関係者が直接行っていただく講師派遣を実施したり、子ども関係のイベントにあわせた万博PRも強化している。
- ・外務省など各省に御協力いただきながら、各種国際会議、在外公館でのPRを行っている。
- ・各省の取組については、内閣官房と経産省がしっかりとサポートさせていただくので御協力をお願いしたい。

○浦上経済産業省大臣官房審議官（国際博覧会担当）

- ・資料3-2「経済産業省の取組状況」により説明。
- ・各省におかれては、機運醸成、様々なイベントや企画、会場の建設、警備、安全対策などを含め、ご協力をいただき、博覧会協会を所管する経産省として感謝。
- ・機運醸成の面では万博に足を運ぶと何が見られるのか、どんな体験ができるのかということに関しての発信が不十分だという声をいただいております、そういった発信を工夫しながらやっていきたいと考えているところ。様々な発信が大阪ベースで行われることも多いため本省のほうで様々な1週間の情報を取りまとめ、関係者の方々、メディアに対しても発信をする「週報」という取組を実施している。また、このパビリオンの見どころはこういうところだということを毎日連続で発信している。月刊日本館として日本政府館の発信も実施している。
- ・関係者の働きかけとして、職員に対する周知、チケットの販売と併せて、関係業界に対する働きかけとして、担当の局長が率先して企業のトップ・業界のトップに働きかけを行っている。コンビニエンスストア、ドラッグストア、百貨等の様々な場所でのポスターの掲示を依頼している。セブンイレブンは、今週からすべての店舗でポスターをはっていただいているところ。
- ・開幕に向けて、様々なビジネスマッチングの準備や費用についてもしっかりと監視をしていくなど、今後も引き続き、取り組んでいく。

○畠山内閣官房内閣審議官（内閣広報室）

- ・先日の国際博覧会推進本部で総理から全大臣が万博で実施する各府省の取組を、メディア SNS の活用を含めて様々な場面で発信するとともに、万博の意義、魅力を PR していただきたいという発言があった。
- ・内閣広報室・政府広報室では、首相官邸ホームページの中で万博特別ページを開設している。また、X、YouTube を始めとする首相官邸 SNS、国際広報誌であります「KIZUNA」、海外メディアの広告や番組等の活用により国内外向けの発信を実施している。新しい雑誌広告、ラジオ番組など政府広報媒体を活用した発信も実施している。各府省庁における万博にかかる広報にあたっては、効果的な広報を実施するため、内閣広報室、政府広報室との積極的な情報共有をお願いする。
- ・各省にて万博関連ページを作成された場合、首相官邸ホームページ内の特設ページにリンクを掲載するよう国際博覧会推進本部事務局より呼びかけていただいていると承知している。
- ・引き続き各省一体となって、様々な媒体を用いて、万博の広報に努めてまいりたい。

○千代延内閣官房危機管理審議官

- ・昨年 9 月の第 5 回連絡会議以降、安全安心円滑な開催に向けた取組として、国際博覧会推進本部事務局と協力しながら、テロ対策等分科会を開催しており、その中で万博会場内外における警備対策、雑踏事故防止対策等について、関係機関間の情報共有や協議を推進している。
- ・大規模災害への対応を含めた防災対策についても、分科会のもう一つの柱として議論してきており、博覧会協会、大阪府市、関係府省庁の間で、各種災害への備えや大規模災害発生時の具体的な対処、連携要領について情報共有を進めていく。
- ・今後とも大阪・関西万博の安全円滑な開催に向けて、関係府省庁と連携しながら取り組んでいく。

○岸田内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局審議官兼内閣府地方創生推進事務局次長

- ・大阪・関西万博は、地方創生 2.0 を推進する上でも極めて重要な機会。地域における様々な取組を加速的に進展させる観点から、取組を進めている。
- ・地方創生関連のイベントについては、シンポジウムやセミナーの際に広報するといったことのみならず、個別のイベントに対して、民放のテレビ局とタイアップをして、番組内でイベントについて周知をするなど取組を進めている。さらに、このテレビ番組の関係では、イベントに参加出展予定の自治体の取組を追いかけいただき、追加的に放映するなどの形で深掘りを予定しているところ。

- ・また、14日に開催される地方創生シンポジウムに参加する。
- ・この他のイベントに参加する自治体の取組に注目したショートムービーを撮影し、発信していく。地域データ（RESAS）利活用推進関係で、ムービーをSNSで投稿していくなどの取組を進めているところ。
- ・今後とも機運醸成に努めていく。

○藤田内閣官房アイヌ総合政策室参事官

- ・資料3-3「内閣官房アイヌ総合政策室の取組状況」により説明。
- ・万博では、アイヌ文化を含む我が国の文化の多様性の発信について、国交省、文科省と連携し、アイヌ舞踊の披露、アイヌ工芸品の展示等の取組を予定している。
- ・アイヌ舞踊については5月17日EXPOホールで開催予定。さまざまな地域の約250名のアイヌの方々が踊り手として参加し、各地域の舞踊の映像や音楽を活用して、披露する予定としている。
- ・広報、機運醸成活動について3点予定している。1点目は北海道にあるアイヌ文化復興拠点「ウポポイ」でのPR。園内でのイベントや公式ホームページ、SNS等でアピールしたいと考えている。2点目は多数のアイヌ文化関連施設でのPR。3点目はアイヌ政策推進交付金を活用している、38市町村でのPR。

○齋藤内閣官房水循環政策本部事務局長

- ・万博期間中の8月1日は、水循環基本法に基づきまして、水の日として制定されている。この水の日に向けて、水の日や水循環の重要性について周知活動を行っているところ。この周知活動と合わせて、万博ポスターやチラシ等の掲示、配布などを行い、水の日ともに万博の機運を高めていきたい。
- ・水循環の関係者や自治体向けのメーリングリストがあるので、そういったものを通じて万博について周知を行っていきたい。周知にあたっては、水循環に関係する企業や団体も万博への出展を予定していることから、水循環と万博という観点で出展状況などを把握して、効果的にメーリングリストで発信を行うなど、効果的な発信に努めてまいりたい。

○高橋内閣府政策統括官（防災担当）

- ・万博開催期間中の地震、台風、風水害等への備えという観点から、防災面での備え、基本計画実施計画等の作成に関係省庁と連携して、取り組んできたところ。
- ・今後の機運醸成として、例えば、毎年多くの一般の方の来場される防災推進の国民大会（9月開催予定）や自治体向けの研修、経済界と一緒に防災の

取組の推進の様々なコンソーシアム、フォーラム等の機会を最大限に活かして、機運醸成に取り込んでいく。

○岡田内閣府男女共同参画局長

- ・内閣府、経済産業省、博覧会協会ともにカルティエと連携・協力し出展するウーマンズパビリオン。3月8日が国際女性デーで、この日に合わせまして、SNSを含め、様々な媒体で周知・拡散をしていきたい。
- ・また、国際会議のAPECに女性と経済フォーラムがあり、8月に韓国で開催予定だが、そのような国際会議においても、機会を捉え周知していきたい。

○奈須野内閣府知的財産戦略推進事務局長

- ・大阪・関西万博を日本の魅力を世界に発信する好機と捉え、4月30日から5月2日の3日間、万博会場内でクールジャパンショーケース、アニメマンガツーリズムフェスティバルを開催する予定としている。このイベントでは、アニメや漫画のゆかりの地となっている30程度の地域が作品と地域の魅力を掛け合わせた展示をすることを予定している。
- ・大阪・関西万博への広報・機運醸成に向けた取組としては、本イベントについて昨年12月に城内内閣府担当大臣から記者会見にて発表している。今後もイベントの詳細が決まり次第、大臣会見などで発表していくこととしている。
- ・今後は海外のアニメファンなどに向けた広報にも取り組むことで訪日外国人の来場促進にも取り組んでいく。

○川上内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官

- ・「ムーンショット」や「エンタングル・モーメント」等で出展を予定しており、「エンタングル・モーメント」では量子、海洋に関して展示を予定している。
- ・万博の機運醸成に関しては、展示に関するプレスリリースを行う他、今後は内閣府のホームページ、それからフェイスブックやX、地方自治体・関係する研究開発法人を実施するイベント等の機会を活用した情報発信を予定している。
- ・引き続き関係府省庁とも連携して、展示の準備を進めるとともに、多くの方々に大阪・関西万博に来場いただき、科学技術・イノベーションの展示を見てみたいと感じていただけるようなPRを実施していく。

○風木内閣府宇宙開発戦略推進事務局長

- ・講演やイベント挨拶などにおいて、月やその先の火星を見据えた未来像を提示するなど、宇宙開発利用の意義及び成果の価値と重要性について、情報発信に取り

組んできたところであり、万博では火星の石や小惑星の砂などが日本館で展示される。

- ・2025 年大阪・関西万博の機会を捉えて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）や文部科学省など、関係省庁と連携し、例えば小型月着陸実証機「SLIM」などの企画展示、トークイベントを実施する予定としている。
- ・国民の皆様が宇宙分野に関心を持っていただけるよう、積極的な情報発信を行っていく。

○高杉内閣府総合海洋政策推進事務局長

- ・海洋分野においても、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局や文科省と協力しながら、日本が世界に誇る海洋科学技術を世界に発信し、海洋産業の振興、海洋の理解増進を貢献できるよう、また合わせてたくさんの皆様に大阪・関西万博にご来場いただけるように考えている。
- ・万博での海洋展示に関しての詳細情報をすでに内閣府のプレスリリースで発表しているが、海洋事務局及び関係機関のホームページにも随時掲載していき、情報の更新も図っていききたい。
- ・特に海洋分野の展示の期間が8月14日から20日、夏休み・お盆期間ということで、是非お子様の目にも止まるように、広報などについてもより一層工夫していきたい。また、展示期間中のお子様を含む来場者の方々が海洋について学び、楽しめるようなトークイベントの実施も検討している。
- ・引き続き広報活動も含め、準備に力をいれていく。

○重松警察庁長官官房総括審議官

- ・「来場者等の安全確保の徹底」については、博覧会協会と緊密な連携を行うとともに、大阪府警察が本年2月4日に夢洲駅において博覧会協会や大阪府・大阪市とのテロ発生を想定した合同訓練を行うなど、各都道府県警察において管理者対策や訓練を実施している。
- ・「安全で円滑な交通インフラの整備と運用」については、大阪府警察において、交通事業者等に対して、誘導員の配置や混雑時の迂回路設定等必要な申入れを行っているほか、シャトルバス発着場においてバス動線の安全指導を行うなどの取組を推進している。
- ・「大規模災害発生時の広域的対応」については、博覧会協会等との具体的な対処・連携要領等の確認を行うとともに、大阪府警察が昨年9月に南海トラフ地震発生を想定した訓練を行うなど、実戦的訓練を実施している。
- ・警察としては、これらの各種訓練や管理者対策等の取組を推進する中で、万博開催の機運醸成を図るとともに、警察が主催する各種イベントにおいてプロモーシ

ョンツールを活用した広報や、警察音楽隊によるテーマソングの演奏等を実施するほか、運転免許センターや警察署等におけるポスター等の掲示等を通じて万博のPRに努めていく。

○川崎金融庁総合政策局審議官

- ・資料3-4「金融庁の取組状況」により説明。
- ・国際的なイベント等の機会を活用して、万博のPRを行う予定。具体的には3月上旬に開催を予定している「Japan Fintech Week」だが、これは昨年、約50の国地域から延べ13,000人以上が参加した国際イベントで、今年も国内外から多くの金融関係者の来場を見込んでいる。その中でまず3月3日に行われるオープニングイベントにおいて大阪府にも参加をいただき、万博のPRをしていただく予定。
- ・3月13日に大阪府・大阪市と連携して開催する「OSAKA FINANCE FORUM」においても、万博の周知・広報を行う予定。
- ・万博のテーマウィークでの取組としては、5月22日に万博のテーマウィークの一環として、大阪の万博会場でもフィンテック関係のイベントを開催する予定としている。このイベントのPRについても、3月上旬の「Japan Fintech Week」における金融庁主催のイベント「FIN/SUM」において、チラシの配布等、積極的にPR・周知を行っていく。

○井上消費者庁審議官

- ・資料3-5「消費者庁の取組状況」により説明。
- ・万博の広報・機運醸成に向けて、万博会場の飲食店等において食べきりを呼びかける普及啓発用のデザインを作成した。今後は博覧会協会を通じて営業参加者にデジタル掲示等と呼びかけるとともに、大阪府内の市区町村や食品ロス削減の関連事業者への普及啓発資材の配布を予定している。
- ・次に博覧会協会が作成しているポスター等のプロモーションツールについては、多くの企業や行政・団体等の関係者が参加する消費者志向経営トップセミナーにおいて掲示を行っており、今後も本年5月の消費者月間等の機会を通じて周知を進めていく。
- ・消費者庁公式SNSにおいて官邸の万博特設サイトを紹介するなど、消費者庁としても引き続き、関係省庁とも連携しつつ、大阪・関西万博の広報・機運醸成に向けて取り組んでいく。

○高橋こども家庭庁長官官房審議官（総合政策等担当）

- ・資料3-6「こども家庭庁」により説明。

- ・万博は、こどもたちにとって主体的に未来の社会について考えたり、意見を表明したりするいい機会だと考えている。こども家庭庁では、様々な施策を実施するに当たり、こども・若者たちの意見を直接聴く取組「こども若者★いけんぷらす」を行っているが、この中でこの度、内閣官房に協力いただき、万博をテーマに取り上げて、「こどもの視点で万博を考える」という取組を実施した。
- ・今後省庁連携催事として、「国連を支える世界こども未来会議」も開催される。
- ・引き続きこども視点で考えながら万博にむけて取り組んでいきたい。

○三浦デジタル庁国民向けサービスグループ審議官

- ・万博は新しい技術や商品が生まれ、生活が便利になるきっかけ。新しい技術を多くの方に実感していただきたいと考えている。
- ・大阪・関西万博では、アクションプランにあるとおり、来場者輸送を担う一部のバスについて、自動運転レベル4、いわゆるドライバースフリーを行うため、国交省、警察庁、総務省、経産省と一緒に取り組んでいる。
- ・デジタル庁は自動運転を含めた新たなモビリティサービスの社会実証を進めており、万博を一つのきっかけとして、こうした取組が今まで以上に加速されるよう、引き続き関係府省庁と連携して必要な制度を含む環境整備に取り組んでいく。

○山野復興庁統括官

- ・資料3-7「復興庁の取組状況」により説明。
- ・万博の機会を活かしまして、被災地の復興しつつある姿を世界に発信することとしている。具体的には復興庁のテーマウィーク展示として5月19日から24日、復興の映像やパネルを展示する。
- ・復興庁のテーマウィーク展示100日前として2月8日、9日11日に福島県、宮城県、岩手県のそれぞれの伝承施設で大阪・関西万博の復興庁展示100日前イベントを開催する。
- ・こうした取組に加え、大阪・関西万博復興庁ポータルサイト、復興庁SNSで引き続きに周知することで機運醸成の強化を図っていく。

○恩田総務省大臣官房総括審議官

- ・機運醸成に向けて、まず9日に開催する「地域おこし協力隊全国サミット」をはじめとして、総務省が開催するイベントにおいて、ポスター等の掲示やパンフレット等の配布を行うことを予定している。

- ・国際機関や業界団体との会合において、総務省が主催する催事である「Beyond 5G ready ショーケース」の紹介を含めて、積極的な PR を行ってまいりたいと考えている。
- ・消防庁において、大阪市消防局等との円滑な連携調整を行う体制を既に構築しており、開催期間中に災害が発生した場合には、迅速な情報収集、初動対応をきちんと行えるようにしている。
- ・今後もこうした取組を通じ、大阪・関西万博の成功に向けて協力をしていきたい。

○礒部出入国在留管理庁出入国管理部長

- ・大阪・関西万博での平和と人権ウィークに合わせ、関西空港内で外国人との共生社会の実現に向けた取組の発信をご覧いただけるブースを出展する。法務省や出入国在留管理庁のホームページ、SNS 等での案内や PR を実施していく。
- ・全国の各法務局や7大空港の入国審査場内に大阪・関西万博のポスターを掲示するなどして法務局や空港を利用する方々への PR を実施する。
- ・さらに、共済組合が提携する福利厚生サービスであるチケット購入サポートについて職員家族への周知を徹底している。
- ・海外賓客等の出入国を円滑・迅速に実施するための対応については、大阪・関西万博の開催期間中における関西空港での出入国審査体制の強化、それから、迅速・的確な審査に関する現場への指示内容について検討・調整を進めているところ。
- ・法務省としては、関係機関と連携しながら、必要な調整や現場に対する具体的な指示等を行い、海外賓客の円滑な出入国に取り組んでいきたい。

○小林外務省経済局審議官

- ・万博の開幕に向け在外公館を通じ、各国の出展準備完了に向けて最大限の支援に取り組んでいる。
- ・国内外での機運醸成の取組にも力をいれている。具体的には、在外公館におけるレセプション、政務三役の出張等の外交機会を通じた海外での PR に加え、国内においても、外国報道関係者向けの万博プレスツアーの実施を検討している。こうした取組を通じ機運醸成にしっかり貢献していきたい。
- ・外国政府からの賓客受け入れについては外務省が中心となって、開催期間中各国が行うナショナルデー・スペシャルデーにおける賓客受け入れの対応方針の策定、警備体制の構築、出入国の簡素化、交通事業者への要請等の要人お招きするための各種準備を関係省庁の皆様と連携しながら進めている。

- ・ 賓客受け入れの体制につきましても、先日行われた国際参加者会議の機会や駐日大使館向けのオンラインセミナーを通じ、各国等の大使に説明を行っている。
- ・ 万博は各国要人が来日する、まさに総理がおっしゃったように大変重要な外交の機会だと認識している。万博を通じた外交については、省を上げて地域局を含めてしっかりと取り組んでいく。

○坂東財務省大臣官房総合政策課政策推進室長

- ・ 資料 3-8 「財務省の取組状況」により説明。
- ・ 貨幣シリーズの発行と政務が出席される会議におけるデジタルサイネージの放映。
- ・ 1 月 30 日実施した全国の財務局長会議で大型のモニターに万博の画像を投影して、冒頭カメラ撮りの際に放映するといった取組を行っている。
- ・ 今月から始まる確定申告の会場におけるポスターの掲示、パンフレットの配布を行い、万博成功に向けた機運の醸成に努めていきたい。
- ・ 財務省の X での PR のポストや広報誌における万博関連の広告掲載等といった SNS ですとかメディアの活用を含めた、様々な場面での万博の意義や魅力の発信に努めていきたい。

○福井文部科学省大臣官房政策課長

- ・ 資料 3-9 「文部科学省・文化庁の取組状況」により説明。
- ・ 科学技術分野の最先端技術や成果、我が国の文化芸術の魅力、スポーツの多様性等に関する会場展示の充実を通じ、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマに貢献したい。
- ・ 機運醸成に関しては、これまでも内閣官房や経済産業省等と連携しながら、修学旅行等における万博の活用に関して周知を図っている。また、万博では 8 月に開催される予定の「わたしとみらいにつながるサイエンス展」のプレイイベントを、来週東京で開催予定。
- ・ 更なる機運醸成のために一層の取組が求められていることと当省としても承知しており、これからも当省関係のイベントや博物館等における万博の広報、SNS における発信などに取り組んでいきたい。

○中原文化庁審議官

- ・ 資料 3-9 「文部科学省・文化庁の取組状況」により説明。
- ・ 大阪・関西万博においては、総理ご出席の下で開催された日本博総合推進会議で決められた方針に基づきまして、訪日機運の醸成と万博の地方への誘客を図るということを目的とした「日本博 2.0 プロジェクト」の実証を行っている。具体的

には官民での文化プロジェクトというものを、日本全国で展開し、日本全国で開催される文化プロジェクトを充実させるほか、日本各地で行われる日本博事業会場におけるポスター掲示等や、日本博公式 SNS における発信といったものを進めていきたい。

- ・ 2023 年の 7 月には関西経済連合会等との間で共同宣言を行い、万博を契機に、オール関西で文化芸術立国の実現に向けて、官民一体となる取組を進めている。
- ・ 万博の機運醸成に向けて、国立博物館で万博に関連するイベントなどを予定しているところであり、今後とも取組は全体として強化していきたい。

○宮本厚生労働省大臣官房審議官

- ・ 6 月下旬の健康ウェルビーイングウィークの期間中に、再生医療等に関する革新的な研究開発の成果や、我が国の医療機器産業の技術力を体感できる映像等を展示することとしている。世界に向けて日本型のヘルスケアサービスを発信できるよう、準備を進めている。
- ・ 機運醸成については、年金事務所やハローワーク等でのポスターの展示や国際会議での万博の PR、オンライン会議で用いる厚労省のバーチャル背景を万博仕様に変更することなどを進めている。
- ・ 万博の開催期間中には、博覧会協会と連携して、感染症対策や食中毒対策に取組、来場者の安心安全の確保に万全を期したい。

○山口農林水産省大臣官房総括審議官

- ・ 資料 3-10「農林水産省の取組状況」により説明。
- ・ 機運醸成に関する取組として、全国農業協同組合中央会に、各 JA でのポスターの配布や、農協観光が各 JA に万博来場を含む視察旅行を提案することなどによるチケットの販売促進を依頼し、全国で実施できるよう調整している。
- ・ チャンネル登録者数が 17 万人を超える農林水産省の YouTube チャンネル「BUZZ MAFF（ばずまふ）」で、万博の魅力を発信する企画を行う。
- ・ 春先から各所で実施される様々なイベント・会合で万博の PR をしていきたい。
- ・ 6 月に「食と暮らしの未来ウィーク」での出展を予定しており、多様な食文化やそれを支える農林水産業、農山漁村の魅力発信ができるよう取組を進めていきたい。

○塩見国土交通省総合政策局長

- ・ 国土交通省では一般の方が来訪する公共施設を多く所管をしており、空港や道の駅、高速道路のサービスエリア、国営公園などに来場された方にできるだけ目立つようなポスターの掲示やチラシ設置を行いたい。

- ・本省庁舎には全国各地から多くの方が来庁されるため、待ち合いのスペースなどに動画を放映することなど考えている。コンテンツの御協力を是非お願いしたい。
- ・海上保安庁にはある音楽隊では、市民向けのイベント等で演奏の機会に万博のテーマソングを演奏し、機運を高めたい。また大臣会見の際のミャクミャク人形の設置や国土交通省が主催をする国際会議などで外国から来られた方を万博会場のご視察にご案内したり、PR ブースを設けたいと考えている。
- ・皆様のご発言を聞いて、新しい気づきもあったため、持ち帰って早速 PR の充実に努めたい。
- ・開催期間中の輸送対策も非常に重要だと考えている。輸送側対策がうまくいかないと万博の評判自体を左右しかねない問題になる。開催期間中、交通量がどうしても増えるため、交通量の増加に対応して混雑緩和に協力していただける TDM パートナーを募集されている。登録拡大があまり進んでいない状況のため、登録拡大にも是非積極的に協力をしていきたい。

○平嶋観光庁次長

- ・昨年インバウンドは、約 3700 万人で過去最高となったところ。万博については、引き続き日本の魅力を世界に発信していく上で非常に重要な機会であると考えている。JNTO や各地とも連携して、各国への PR も図っていきたい。
- ・直近では昨年 11 月から、大阪・関西万博に関連する観光体験、それから地域のランドマークを題材とする 10 地域、20 種類の現代水墨画アートを NFT として作成しており、万博のウェブサイトにはリンクを掲載しプロモーションを開始している。また、万博のテーマに関連する全国の観光体験施設を取り上げた 8 本の動画を作成している。
- ・昨年 11 月から JNTO のウェブサイトの万博特設ページにこちらを公開して、各地の魅力が体験も含めて直接伝わるようにしている。
- ・今年は万博会場や関連地域へのインフルエンサーの招請、万博取材メディアの地域取材のサポート、これらによる地域の魅力発信の取組を引き続き行っていく。
- ・日本国際博覧会協会が運営する観光ポータルサイトへの旅行商品の掲載が増えているところである。最近の水準としては 200 を超える商品が登録されており、現在申請をしているものも多数ある。
- ・引き続き博覧会協会とも協力して地方へのインバウンドの促進に向けて、取り組んで行きたい。

○秦環境省総合環境政策統括官

- ・資料 3-11「環境省の取組状況」により説明。

- ・環境省が管理している国立公園や国民公園には大変多くの観光客の皆様に来ていただいております、ポスターの展示、パンフレットの配布を行っています。
- ・万博は夏の時期を中心に開催されるため、熱中症の発生が懸念される。博覧会協会からもご要望いただいております、どのような具体的な対策を取っていくかということの知見の共有や対策を一緒に考えている。

○廣瀬防衛省大臣官房政策立案総括審議官

- ・資料3-12「防衛省の取組状況」により説明。
- ・本日、防衛大臣より万博開幕日に会場上空でブルーインパルス展示飛行を行うことを発表した。併せて防衛省広報アドバイザーを活用した事前告知やPRを計画している。
- ・防衛大臣以下、政務三役の執務室、全国の自衛隊基地・駐屯地、各機関等に万博ポスターを掲示して、職員や来場者に周知・PRをしている。防衛省のウェブサイト、SNSでもPRしていく。
- ・チケットの割引購入についても、職員に対し周知・PRをしている。
- ・来場者等の安全確保の徹底について、万全の対応をとるべく、防衛省から各国要人対応等のため、7名の要員を派遣している。
- ・大規模災害発生時の広域的対応については、万博開催中に大規模災害が発生した場合を想定し、大阪府、博覧会協会と連携した航空機や艦艇による人員輸送訓練などを行い、来場者を退避させる手順を確認し、いかなる場合にも備えている。

○北尾内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長

- ・テロ、防災、サイバーセキュリティ等各分野において、分科会を開催するなどして関係府省庁と協力を進めてきた。万博開催期間中のセキュリティインシデントの対処にも遺漏が生じないように、引き続き、必要な連絡体制の構築に向けて、関係府省庁と連携しながら取り組んでいく。

○西海内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長

- ・輸送の混雑対策についてご報告とお願いをさせていただく。昨年9月末から10月にかけて、フレックス勤務、テレワーク、時差出勤などの交通需要管理のトライアル・試行が行われ、国については大阪市域の部局で31%の実施とご報告いただいている。このトライアルで一定の効果見られたが、実は大阪市内で同じような大きなイベントがあった場合は、混雑が予想されたため、今後の企業への働きかけの強化と大阪府市における数値目標の拡大が昨年末より議論されている。国においても昨年のトライアルの結果を参考にしながら、目標の設定を行い一層の推進を図りたいと考えているため、ご協力をお願いしたい。

3. 閉会挨拶

○阪田内閣官房副長官補（内政担当）

- ・万博開幕まであと2か月余り（65日）となった。ほとんど日が残っていない状況であり、石破総理のご指示を踏まえ、政府一丸となって、万博への機運醸成や安全・円滑な開催に向けた取組を進めていく必要がある。
- ・今日、各府省庁にご紹介いただいた、テーマウィークなど万博で取り組む催事のPR、国民が広く訪れる交流イベントや行政手続き等の機会を通じた万博のPR、各府省庁のSNS、地方でのイベントや海外での外交機会等を通じた情報発信・広報などの取組を、確実に実行していただきたい。また、今日の各府省庁のご説明を聞いて、新たに実施できる取組があればすべて取り組んでいただきたい。各府省庁の取組の実施状況は、定期的に、総理にご報告するので、1～2週間おきにフォローアップさせていただく。
- ・万博事務局・経済産業省は、ポスターやキャラクターグッズを含め、各府省庁の機運醸成活動に対するサポートをしっかりと進めていただきたい。
- ・その他、9月にお願いした万博の安全・円滑な開催等に向けた対応状況については、別途個別に事務方ベースで進捗を確認させていただきたい。
- ・万博の成功に向けて、引き続きの各府省庁のご協力をお願いしたい。